

# 道徳学習指導案

対象 第1学年

1 主題名 いじめについて考えよう 4－(3)

2 資料名 「ゴミくず」(「だからあなたも生きぬいて」大平光代著 講談社刊)より

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値について

正義を重んじ、誰に対しても公正公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めることをねらいとしている。

人はみな、だれもが自由・平等に幸せを求めて生きる権利を持っている。しかし、現実には、差別や偏見が存在し、様々な人権侵害がおこっている。子供をめぐる、いじめやそれともなう不登校の問題も、そうした人権侵害の一つであり、早急に解決しなければならない深刻な課題である。

他者の傷みを共感できる豊かな心情を養い、人間として、強い意志で自ら正しいと信ずることを積極的に実践できることの大切さを知らせ、誰に対しても公正公平に接し、差別や偏見をもたない社会連帯の精神が何より大切であることを理解させ、その実現に向けて努力しようとする態度を育成したい。

### (2) 生徒の実態について

中学入学してから1学期を経過したが、人間関係を模索する日々が続いている。学校生活を振り返るアンケートなどを見ると、「相手のことを気遣いすぎ、相手の主張に合わせるだけの表面的な接し方による友達づくり」という、近頃の中学生によく見られる傾向がうかがえる。このためか、不正な行動やいじめ、差別的言動が目の前で起こった場合、内心ではいけないと思っけていてもそれを勇気をもって止めるなど正義の実現に努めることに消極的になってしまうことが多い。

そこでこの時期に、人間関係に大きな障害となる「いじめ」について、今ある生活集団である学級全員が一斉に考え、「いじめ」について共通認識を持ち、学級全体で「いじめを許さない」という気持ちを、本授業を通して、高めたい。

### (3) 資料について

「だからあなたも生きぬいて」という書籍は、現在弁護士で活躍されている大平光代さんの半生を綴った実話である。

資料は、第一章のいじめの「ゴミくず」から一部抜粋して作成した。すさまじいいじめの内容になっているため、著者の思いをきちんとつかんで指導したい。

## 4 本時の学習

### (1) ねらい

いじめの実態をとらえ、いじめをしない・許さない気持ちを高め、いじめにない望ましい友達関係を作るために、自分が行うべき言動について考える。

(2) 指導過程

	学習活動と○主な発問	・予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	1 アンケートの結果から考える ○こんな結果がでたが、みんなはどう思うかな？ ・からかわれた2回以上23% ・仕事をおしつけられた23%	1 ・たいしたことない。 ・ちょっと嫌だな。 ・いじめ？	○アンケート結果を紹介して本時はいじめについて考えることを方向づける。
展開	○今日はいじめについて考えてみよう。どんなことがいじめと言えるのかな？  2 資料「ゴミくず」を読み、次のことについて考え、語り合う。 ① どんないじめがあったかな？  ② そのようないじめを受けた筆者の気持ちどうだろうか？  3 資料と日頃の生活を重ね合わせて、次のことについて考え、語り合う。  ○ いじめを受けて苦しんでいる友達に何ができるかな？	○ ・嫌なことをする。 ・ぶつたりする。 ・長い間やられてもなにも抵抗できない。  ① ・スチール製の筆箱が無くなっていた。 ・机の上にゴミがのせられていた。 ・脚を引っかけられて転ばされた。  ② ・嫌だなと思う。 ・つらいなあ。  ○ ・励ましてあげる。 ・話を聞いてあげる	● 生徒に発表させ、「いじめ」に対する大まかな共通理解を図る。(T <sub>1</sub> ) ● 生徒の発表内容を板書する(T <sub>2</sub> ) ● 資料を朗読する(T <sub>1</sub> ) ○ 「いじめ」への課題意識をしっかりと持たせるようにする。 ○ 資料から十分にくみ取らせるようにする。  ○ 個々の生徒の考えを尊重して、内容を強要するようなことがないように配慮する。たせるようにする
終末	4 「いじめをしない・許さない」ために、自分はどうしたいのかを書く。 (ワークシートに記入する) 5 教師の話聞く。	4 ・自分が嫌だなと思うことは他人にはしない。	・個人の「いじめ」に対する気持ちを全体に広げ、「いじめを許さない」という思いを教師が話す。 (T <sub>1</sub> , T <sub>2</sub> )

(3) 評価の観点

- ・いじめの実態をつかむことができ、いじめをしない・許さない気持ちを高めることができたか。
- ・「いじめをしない・許さない」ために、いじめに対する自分の気持ちや態度をしっかりと持つことができたか。

## 5 板書計画

○アンケートの結果から

- ・からかわれた2回以上23%
- ・仕事をおしつけられた23%
- ・なぐつたり、蹴られたりした34%など

○今日はいじめについて考えてみよう。

どんなことがいじめと言えるのかな？

- ・嫌なことをする。
- ・ぶつたりする。
- ・長い間やられてもなにも抵抗できない。

○どんないじめがあったかな？

- ・スチール製の筆箱が無くなっていた。
- ・机の上にゴミがのせられていた。
- ・脚を引っかけられて転ばされた。

○いじめを受けて苦しんでいる友達に

何ができるかな？

- ・励ましてあげる。
- ・話を聞いてあげる。